

# 室蘭工業大学-学報

NO.661



北海道宇宙サミット2024の様子  
(15ページに関連記事あり)

2024年11月号

# 目次

## ◇ トピックス ◇

令和6年度9月期学位記授与式を挙行……………	1
工藤康生教授が2024年度日本知能情報ファジィ学会論文賞を受賞……………	2
室蘭工業大学広報誌「蘭岳 (RANGAKU)」-No.150- を発行……………	3
本学卒業生が日本建築学会作品選集新人賞を2年連続で受賞……………	4
令和6年度10月期入学宣誓式を挙行……………	7
三笠市立三笠中学校が本学のCO <sub>2</sub> 地下固定実験現場（三笠市）を訪問……………	8
室蘭市立東明中学校が本学で総合的な学習の時間（キャリア教育）を実施……………	9
「価値ある大学 就職力ランキング2024-2025」の小規模ランキングで本学が道内1位を獲得……………	10
室蘭市立翔陽中学校が本学のロボットアリーナを訪問……………	11
北海道大学工学部創立100周年記念式典において松田学長が講演……………	12
神奈川県立多摩高校2年生40名が白老実験場を訪問……………	13
道南公和会情報交換会に本学教員が講師として参加……………	14
北海道宇宙サミット2024に出展……………	15
香港城市大学Freddy BOEY学長らが室蘭工業大学を表敬訪問……………	16

## ◇ 外部資金 ◇

民間等との共同研究の受入れ……………	17
奨学寄附金の受入れ……………	18

## ◇ 人 事 ◇

人事異動……………	19
-----------	----

## ◇ 学内会議 ◇

学内各種委員会等の開催……………	20
------------------	----

## ◇ 日 誌 ◇

学内行事・学外行事……………	21
----------------	----

## トピックス

# 令和6年度9月期学位記授与式を挙

令和6年9月24日(火)に本部棟大会議室において、令和6年度9月期学位記授与式を挙

学位記授与式では、理工学部学士課程6名、工学部学士課程1名、大学院博士後期課程6名、大学院博士前期課程13名のうち、理工学部学士課程4名、工学部学士課

程1名、大学院博士後期課程5名、大学院博士前期課程10名が出席しました。

関係教職員列席の中、松田瑞史学長から、一人ひとりに学位記が授与された後、お祝いの挨拶があり、閉式となりました。



9月期学位記授与式の様子



挨拶をする松田学長

## 工藤康生教授が2024年度日本知能情報ファジィ学会 論文賞を受賞

令和6年9月3日(火)に椋山女学園大学 星が丘キャンパス(愛知県名古屋市中)で開催された第40回ファジィシステムシンポジウム(日本知能情報ファジィ学会全国大会)の表彰式で、工藤康生教授及び工藤研究室の橋本祥奈修了生、大川創大学院生、公立千歳科学技術大学の村井哲也教授が、2024年度日本知能情報ファジィ学会論文賞を受賞しました。

本賞は、日本知能情報ファジィ学会 学会賞選考委員会により毎年度1回審査されるものであり、今回は2023年に日本知能情報ファジィ学会誌「知能と情報」に掲載された原著論文及びショートノート計41編から、優秀論文2編が選出され表彰されました。

受賞者及び受賞論文題目は、以下の通りです。

橋本 祥奈(日本電気株式会社、2022年3月本学大学院修士課程情報電子工学系専攻修了)

大川 創(推論システム研究室 D2)

工藤 康生(しくみ解明系領域 教授)

村井 哲也(公立千歳科学技術大学 情報システム工学科教授)

「決定表の対象の更新に伴う相対縮約の再計算方法の改良」  
知能と情報(日本知能情報ファジィ学会誌) Vol.35, No.1,  
pp. 624-632 (2023)

本論文では、橋本らによる対象の更新後の決定表から相対縮約を高速に獲得する手法の改良を試みる。橋本らの手法は、対象の追加による決定表の更新、対象の削除による決定表の更新、および対象の書き換えによる決定表の更新に対して、それぞれ相対縮約を高速に抽出する手法で構成されているが、これらの手法は決定表が無矛盾であることが暗黙的に仮定されており、矛盾を含む決定表からは、更新後の相対縮約を正しく抽出できない場合がある等の問題点があった。本論文ではこの問題点を解決することを目的に、決定表へ対象の追加による矛盾データの発生、および対象の削除によるある矛盾データの無矛盾データへの変化に対応する機能を追加し、橋本らの手法を矛盾データ対応可能とするよう改良する。更に、計算機実験により提案手法の有用性を検証する。

### 【受賞コメント】

この度はこのような栄誉ある賞を受賞することができ、大変光栄に存じます。一緒に研究を行って頂いた橋本祥奈さん、大川創君、村井哲也先生はじめ、ご支援頂いた関係各位に心より感謝申し上げます。

### 【参考リンク先】

<https://www.j-soft.org/post/prize-winners>



工藤康生教授(左)と日本知能情報ファジィ学会 中嶋宏会長(右)

# 室蘭工業大学広報誌 「蘭岳 (RANGAKU)」 - No.150 - を発行

室蘭工業大学広報誌「蘭岳」(年2回発行)は、昭和44年3月30日に第1号が刊行され、学生、同窓生、市民の皆様などに対し、室工大の今を伝えてきました。室蘭工業大学は1949年に新制国立大学として創立以来、自然豊かなものづくりのまち室蘭の環境を活かし、地域社会さらには国際社会における知の拠点として歩み続け、今年、創立75周年を迎えることができました。

創立75周年を迎えたことを機に、蘭岳をさらに幅広い世代の皆様手に取っていただけるよう、完全リニューアルし、令和6年9月30日に蘭岳 (RANGAKU) No.150号を発行いたしました。

これらも室蘭工業大学が学生、同窓生、市民の皆様などにとって、「室工大の今をより親しみやすく、理工学を身近に感じられる広報誌」を目指していきます。



### ～コンテンツ～

#### (特集 Seeds+Needs)

「このまち、いいね!」の虎の巻  
再現性のある「共成長」のしくみのはなし

#### (グラビア)

蘭ガク百景 -室蘭岳を望む学び舎の、様々な表情を写しとって-  
(インタビュー by むろこーぼー)

松田学長は、これから、なにを?

#### (学内ニュース)

ムロびよんTOPICS

#### (研究紹介)

RANGAKU Congress -室工大で進む、研究のいまを大発表!-

#### (オリジナルグッズ紹介)

室工大アイテムコレクション

#### (サークル紹介)

2/76 GRAFFITI

#### (大学周辺スポット紹介)

とりあえず行くべ、中島町!

### ～読者の皆様へ アンケートご協力をお願い～

蘭岳(RANGAKU)の読者アンケートを実施しています。アンケートにご協力いただいた方には抽選で合計11名様に「室蘭工業大学オリジナルグッズ」をプレゼントいたします。是非、ご協力ください。

**応募締め切り 令和6年12月31日(火)**

感想を送って、大学オリジナルグッズをもらおう!

## WEBアンケートにご協力ください

ご回答いただいた方の中から、  
抽選で11名様にオリジナルグッズをプレゼント!  
アンケートは、今後の誌面づくりに活用させていただきます。  
ぜひご協力ください。

**回答締切 令和6年12月31日(火)**

※プレゼントご希望の方は、アンケート回答時にEメールアドレスのご入力が必要となります。



レアアースを使ったレアな一品!  
大学オリジナル  
ワイングラス

1名様



どこにでも  
一緒に行ける  
手のひらサイズ  
ムロびよんぬいぐるみ

10名様

## 本学卒業生が日本建築学会作品選集新人賞を 2年連続で受賞しました

本学の卒業生である小寺亮さん（現職：佐藤総合計画）が2024年日本建築学会作品選集新人賞を受賞しました。本賞の受賞は2023年の尾口晴基さん（現職：日建設計）につづいて2年連続の受賞でした。

日本建築学会作品選集新人賞は若手会員の作品発表を奨励するために2013年に創設された賞で、若手建築家の登竜門とされています。40歳未満の筆頭設計者を表彰する大変名誉ある賞です。

特筆すべきなのが、両氏は共に本学の山田深研究室の卒業生であるということです。同じ大学のしかも同じ研究室の卒業生が2年連続で受賞する快挙です。

### 【小寺亮さんの作品と解説】

青森市新庁舎は、大きな広場や“サードプレイス”と呼ばれる市民が自由に利用できる広い屋内スペースがある「市民に開かれた市役所」です。設計で大切にすることは、市内に分散されている庁舎機能が近い将来、この新市庁舎に集約されることが想定されたため、将来を見据えて拡張性の高い建築のあり方、そして、市民が気軽に利用できる居場所をつくることです。建築は敷地いっぱい広がるのびやかな構成とすることで増築の時に拠り所となる“軸”の役割を持たせています。1階は広場も含めてほとんどが市民の居場所としました。この建築を通して、社会の変化によって変わっていくもの（庁舎機能）と変わらないもの（市民の居場所）が混同するあり方を考えました。

※小寺亮さんの作品写真は船来洋志：川澄・小林研二写真事務所が撮影したものです。



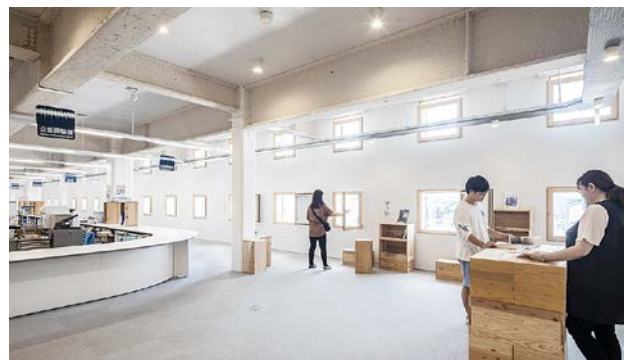
敷地いっぱいのにびやかにまちと連続する建築



ひろばと内外連続した市民の居場所（サードプレイス）



24時間自由に利用できる通り抜けできるひろば



1フロアに2段に配置された特徴的な窓がある明るい執務空間



ねぶた祭のメイン会場としても使われる庁舎

【受賞者コメント（小寺亮さん）】



小寺 亮さん

公共建築の場合、プロポーザルを経て設計から施工、供用開始するまで長い期間がかかります。青森市新市庁舎は約6年間、一生懸命やった成果を評価いただき、建築学会から、このような賞をいただけたのは嬉しいかぎりです。

さらに、昨年度、山田研究室の1学年先輩の尾口さんに続けて受賞できたことは、山田先生のご指導の賜物だと、本当に感謝しています。（おそらく、同じ研究室出身者が2年連続して受賞したことは初めてだと思います）

（在校生に向けて）

室工大は私が在籍した当時、24時間出入り自由な製図室に入り浸って（ほぼ寝泊りして。笑）日々の設計課題に打ち込める環境がありました。山田研究室に配属後は、山田先生はもちろん、同期や先輩、後輩と切磋琢磨しながら研究やコンペに集中でき、その経験は今も建築を考える上でのベースになっています。室工大で建築を学べて本当によかったと改めて感じています。

（これからの抱負）

これまで市庁舎や図書館、スポーツ施設など、長い時間使われ続ける“公共建築”を中心に設計活動を行ってきました。複雑さやスピード感が増していく社会の変化を受け入れながら、建築される地域毎の課題と向き合って設計することを大切にしてきました。今後も、そういったことを考えながら、新しい建築にチャレンジしていきたいと思っています。

【尾口晴基さんの作品と解説】

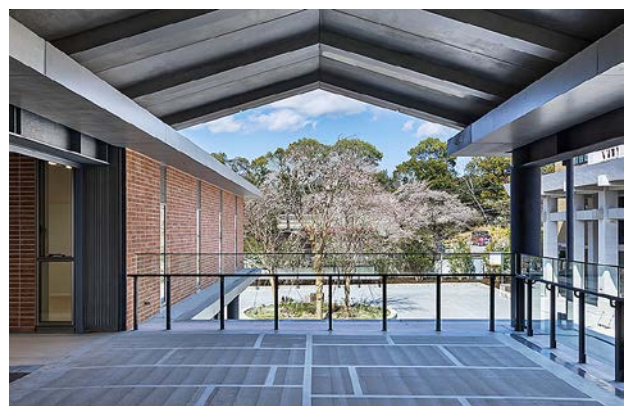
受賞作である「京都女子大学E校舎」は京都の風光明媚な東山の山裾にキャンパスを展開する大学の中核をなす建物であり、学生の居心地の良さや、今までにない大学の在り方を探って実現できた建物です。私が学生時代から設計のテーマと考えている、建築とランドスケープの融合を実現し、内部、外部至る所に学生の居場所となる空間を丁寧に作り上げました。



京都女子大学E校舎 中庭



京都女子大学E校舎 学生ラウンジ



京都女子大学E校舎 さくらの庭

**【受賞者コメント（尾口晴基さん）】**



尾口晴基さん

「建築学会作品選集新人賞」を受賞することができ、大変光栄に思います。

ただし、この受賞は企画された大学様、建設された施工者様、設計に関わったメンバー、全ての方の努力によって成し得たことだと思います。

学生時代から考えていたことを形にすることができたのは、室蘭工業大学在籍時に恩師の山田深先生にご指導いただきながら、友人と共に夜遅くまで建築設計について語ったことが根幹にあると感じています。

引き続きよりよい建築を設計できるように精進してまいります。また、今回の受賞が在学生の励みになるようであれば幸いです。



## 令和6年度10月期入学宣誓式を挙

令和6年10月1日(火)に本部棟大会議室において、令和6年度10月期入学宣誓式を挙

行しました。10月入学については、大学院における入学時期の拡大を図るため、博士後期課程については平成19年度から、博士前期課程については令和2年度から実施しているもので、今年度は大学院博士前期課程に8名、大学院博士

後期課程に13名のあわせて21名の方が入学しました。

式には新入生21名のうち15名が出席し、関係教職員が列席するなか、松田瑞史学長から新入生に激励とお祝いの言葉が述べられ、次いで新入生を代表して山之内さんが宣誓を行い、閉式となりました。



挨拶する松田学長



新入生代表で宣誓をする山之内裕一さん

## 三笠市立三笠中学校が本学の CO<sub>2</sub>地下固定実験現場（三笠市）を訪問

三笠市立三笠中学校の生徒24名が、三笠市にある本学の  
実験現場を訪れました。

一行は、まず、三笠市立博物館で板倉賢一特任教授か  
ら石炭地化学化（UCG）の概要の説明を受けたのち、  
三笠市弥生双葉町にあるCO<sub>2</sub>地下固定実験現場を簡単な

実演を交えながら見学しました。

実施日：令和6年10月4日（金）9時00分～11時30分

場 所：三笠市立博物館およびCO<sub>2</sub>地下固定実験現場

参加者：生徒24名、引率3名



三笠市立博物館で説明をする板倉特任教授



実験場で説明をする出口客員教授

## 室蘭市立東明中学校が本学で 総合的な学習の時間（キャリア教育）を体験

室蘭市立東明中学校の生徒70名が、本学で総合的な学習の時間（キャリア教育）を行いました。

一行は、教育・研究1号館A棟A304教室での創造系領域 航空宇宙総合工学ユニットの廣田光智教授と航空宇宙機システム研究センターの中田大将准教授から中学校と大学の教育活動の違いや大学の研究活動について説明を受けたのち、両教員・本学学生とディスカッショ

ンを行いました。その後、グラウンドに移動し、もの創造系領域 航空宇宙総合工学ユニットの湊亮二郎准教授からジェットエンジンについて簡単な説明を受け、エンジンの点火を見学しました。

実施日：令和6年9月30日(月)10時00分～12時00分

場 所：教育・研究1号館A棟、屋外運動場

参加者：生徒70名、引率5名



A304教室での説明



ジェットエンジン見学

## 「価値ある大学 就職力ランキング2024-2025」の 小規模ランキングで本学が道内1位を獲得

日経CAREER MAGAZINEにおいて紹介された「価値ある大学 就職力ランキング2024-2025」（2024年6月発行）の小規模大学ランキング\*にて、総合得点が道内1位でランクインしました。

就職力ランキングは、企業の人事担当者から見た大学イメージに加え、採用した社員の出身大学を「行動力」・「対人力」・「知力・学力」・「独創性」の4つの側面から評価した回答をもとにスコアを算出し、ランキング化しています。

本学のスコアが最も高かった「対人力」の分野では、小規模ランキング上位にランクインしている東京農工大学、長岡技術科学大学と比肩するスコアとなっています。

### 【参考URL】

日経HR > 価値ある大学2024-2025 就職力ランキング

室蘭工業大学は今年度から『真なる探究心から未来の価値づくりを。』を新たなキャッチコピーとして、延べ40,000人余の同窓生の活躍を実績として教育改革を進め、地域にそして世界に貢献できる理工系学生の育成に邁進します。

\*小規模ランキング：就職力ランキングの入学定員が1,500名以下で回答数が一定以上ある大学のみで構成されているランキング。  
スコアの計算は入学定員が1,500人以上の大学で構成されている就職力ランキングと同じ算出方法を採用。



出典：日経HR  
『日経キャリアマガジン特別編集 価値ある大学 就職力ランキング2024-2025』  
2024年6月発行

## 室蘭市立翔陽中学校が本学のロボットアリーナを訪問

室蘭市立翔陽中学校の生徒12名が、本学のロボットアリーナを訪れました。

一行は、ロボットアリーナスタッフの指導のもと、パソコンソフトを駆使しながら3Dプリンタでムロびよんのキーホルダーを作成しました。質疑応答では、ロボットアリーナスタッフの学生と楽しそうに交流していました。

実施日：令和6年10月10日(木)13時00分～15時00分

場 所：ロボットアリーナ

参加者：生徒12名、引率1名



ロボットアリーナでの実習の様子

## 北海道大学工学部創立100周年記念式典において 松田学長が講演

令和6年9月27日(金)に京王プラザホテル札幌で開催された北海道大学工学部創立100周年記念式典において「北海道大学工学部への期待 (OBで同業者から)」と題して、松田瑞史学長が講演しました。同式典では北海道大学の寶金清博総長、同工学部長幅崎浩樹氏等の北海道大学関係者による式辞、挨拶に続き、北海道知事、札幌市長等の祝辞が紹介されました。



松田学長による講演

## 神奈川県立多摩高校 2年生40名が白老実験場を訪問

令和6年10月8日(火)に神奈川県立多摩高校の高校2年生40名がスーパーサイエンスハイスクール研修旅行の一環として白老実験場を訪れ、有翼無人航空機の自動飛行およびロケットスレッドの実演の様子を見学しました。有翼無人航空機の自動飛行では上羽教授や本学学生

より研究の取り組みや課題について説明の後、2機を用いて自動連続旋回及び周回飛行を実演し、着陸時には大きな歓声があがりました。また、300mの直線軌道上を走るロケットスレッドの走行実験見学（Run67）とマルチコプターの操縦体験を行いました。



有翼無人航空機の説明を聞く多摩高校の皆さん



走行後のロケットスレッド前での記念撮影

## 道南公和会情報交換会に本学教員が講師として参加

令和6年10月8日(火)に室蘭工業大学内カフェTENTOにおいて、道南公和会情報交換会が開催されました。道南公和会は、日本政策金融公庫中小企業事業と取引のある胆振地域の企業が自主的に組織している会であり、相互交流と研鑽を目的に毎年情報交換会を開催しています。今年、3月に本学が日本政策金融公庫と連携協力に関する協定を締結したことをきっかけに、本学での開催となりました。

当日は、特定非営利活動法人 ten to ten北村理事長から「地域の「好き」を増やすつながりの場工大カフェ

TENTO」について、本学の市村副学長から「工大カフェプロジェクト」、吉成学長補佐から「産学官金連携」について講演を行いました。

最後に道南公和会鈴木会長から、「人口減少社会の中、それぞれの特性を活かした連携を進め、地域の活性化に繋がっていききたい」との発言がありました。

本学は、日本政策金融公庫との連携を推進し、関係自治体や金融機関、企業等の協力も得ながら、社会との共創を進めてまいります。



講演する北村理事長



講演する市村副学長



講演する吉成教授



## 北海道宇宙サミット2024に出展

令和6年10月10日(木)に帯広市で開催された北海道宇宙サミット2024に、今年も室蘭工業大学ブースを出展しました。

北海道宇宙サミットは、民間に開かれた商業宇宙港「北海道スペースポート」を舞台に行われる日本最大級の宇宙ビジネスカンファレンスで、今回4回目の開催と

なります。

室蘭工業大学からは航空宇宙機システム研究センター長の内海政春教授と航空宇宙機システム研究室の学生、学生広報スタッフ「むろこーぼー」のパーカーさん、本学マスコットのムロぴょんが参加し、大学のブースを訪れた来場者に対し、本学の活動をPRしました。



本学のブースを訪れる参加者の皆さん



会場の様子



大樹町宇宙応援アンバサダーのこてつくんと  
本学マスコットムロぴょん

## 香港城市大学Freddy BOEY(フレディ・ボエイ)学長らが 室蘭工業大学を表敬訪問

令和6年10月15日(火)に香港城市大学(City University of Hong Kong)学長・卓越教授Freddy BOEY氏及びロボット工学のXingjian JING教授、国際交流担当のPheck Choo NG氏、地域連携担当のHelen LAM氏が松田学長を表敬訪問しました。

冒頭に、松田学長は香港城市大学BOEY学長らによる本学来訪を歓迎し、昨年6月の本学関係者による香港城市大学研究センター訪問に言及しつつ、今回の表敬訪問を通じて将来的な連携強化に向けた前向きな意見交換が行われました。

香港城市大学は、香港の中心部である九龍塘に本部を置く公立大学です。1984年に設立され、学生数は約2万

人、ビジネス学部、工学部、教養社会科学部、理学部、獣医学生命科学部、クリエイティブメディア学部、データサイエンス学部、エネルギー環境学部、法学部の9学部を有する総合大学であり、コーネル大学と提携して2016年に開設したアジア初の6年間の獣医学士プログラムや香港初であるデータサイエンス学部などに強みを有しています。世界大学ランキング2024では、15位にランクされています。

表敬訪問後は本学のものづくり基盤センターを見学し、ものづくり基盤センター長の清水一道教授からものづくりに関わる実践的な教育や先端加工技術の研究等説明を受けておりました。



ものづくり基盤センターで本学の先端加工技術を見学



今後の連携に向けての情報交換の様子



集合写真(後列左から、白准教授、太田教授、董副学長、ウン氏、ラム氏  
前列左から、空閑前学長、松田学長、ボエイ氏、ジン氏)

## 外部資金

## 民間等との共同研究の受入れ

研究代表者・職・氏名	相手方区分	金額 (千円)
もの創造系領域 教授 内海政春	中小企業	600
もの創造系領域 教授 小室雅人	その他	1,716
もの創造系領域 教授 関根ちひろ	大企業	1,000
しくみ解明系領域 教授 山中真也	中小企業	1,300
合計 (4件)		4,616

※大企業・中小企業の別は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条による。

## 奨学寄附金の受入れ

寄附者	目的	金額 (千円)
株式会社日本製鋼所	工学研究助成	950
個人寄附者（1件）	工学研究助成	150
I-PEX株式会社	工学教育助成	250
株式会社日水コン	工学教育助成	150
国立大学法人岡山大学	工学研究助成	687
札幌高級鋳物株式会社	工学研究助成	500
個人寄附者（1件）	工学研究助成	600
公益財団法人大隅基礎科学創成財団	工学研究助成	6,000
太平洋セメント株式会社	工学研究助成	500
合計（9件）		9,787

## 人 事

## 人 事 異 動

国立大学法人  
室蘭工業大学長発令

発令年月日	異 動 内 容	氏 名	現 職
	〈採 用〉		
令和6年11月1日	大学院工学研究科准教授（しくみ解明系領域） 兼務：MONOづくりみらい共創機構	城 野 理佳子	北海道大学産学・地域協働推進 機構学術専門職
	〈辞 職〉		
令和6年10月11日		木 幡 侑 香	大学院工学研究科 事務補佐員
令和6年10月31日		TRAN VINH HA	大学院工学研究科 博士研究員
	〈雇用期間満了〉		
令和6年10月11日		松 本 三奈子	大学院工学研究科 事務補佐員
令和6年10月31日		佐々木 恵梨菜	大学院工学研究科 技術補佐員
	〈採 用〉		
令和6年10月12日	大学院工学研究科 事務補佐員	松 本 三奈子	

## 学内会議

### 学内各種委員会等の開催

< 9月25日～10月24日 >

**開催日時** 令和6年9月25日(水)  
**会議名** 第4回経営協議会

**開催日時** 令和6年9月25日(水)  
**会議名** 第15回役員会

**開催日時** 令和6年10月1日(火)  
**会議名** 第10回企画戦略会議

**開催日時** 令和6年10月3日(木)  
**会議名** 第16回役員会

**開催日時** 令和6年10月3日(木)  
**会議名** 第5回教育研究評議会

**開催日時** 令和6年10月10日(木)  
**会議名** 第5回大学院工学研究科博士後期課程専攻長等会議

**開催日時** 令和6年10月15日(火)  
**会議名** 第11回企画戦略会議

**開催日時** 令和6年10月22日(火)  
**会議名** 第17回役員会

## 学内行事

10月1日(火) 辞令交付  
10月1日(火) 令和6年度期入学宣誓式

## 学外行事

10月4日(金) 2024年度道内国公立大学 学長懇談会  
(北広島市)  
10月5日(土) 第50回技術士全国大会 (札幌市)  
10月18日(金) 第59回国立工業大学長懇談会 (豊橋市)

## 編集後記

- ◆ 紫金山・アトラス彗星は、2023年1月に発見された彗星で、地球への最接近は10月13日で、この時の彗星と地球の距離は0.47天文単位（約7,100万キロメートル）です。  
宇宙を夢見るムロびょんと彗星がコラボできたことは、広報室員としても喜ばしい限りです！



(Garoon：総務広報課秘書広報係、E-mail：koho@muroran-it.ac.jp)

(総務広報課秘書広報係)



室蘭工業大学のキャラクター「ムロびょん」

- 編集発行 室蘭工業大学総務広報課  
〒050-8585 室蘭市水元町27番1号 電話 0143-46-5014
- 印刷所 株式会社日光印刷  
電話 0143-47-8308